

自転車駐車場 黒字経営なのに値上げするなんて！

自転車駐車場の使用料について、市は約25%の値上げを提案しています(表1)。しかし、自転車駐車場の運営経費は、使用料収入が年間1億1千万円あり、シルバー人材センターへの指定管理料、土地の賃貸料などを差し引いても、年間1256

万円の黒字(平成19年度)となつていきます(表2)。値上げの理由はどこにもありません。健康や環境への配慮から、自転車の利用が奨励されているいま、低い料金で利用しやすい自転車駐車場を市民に提供するべきです。

表1 自転車駐車場の1カ月使用料(市の値上げ案)

形態	場所	現行	値上げ案(円)
屋根なし	交野市駅(駅前・東・ぎんりん)	1,200	1,500
	河内森駅(西)		
	河内磐船駅(南・北)		
屋根付	郡津駅(西)	1,700	1,800
高架下	星田駅(駅前・西・東)	1,200	1,600
	郡津駅(跨線橋下)		
駅遠方	河内森駅(東)	1,000	1,300
	河内磐船駅(東・新北)		

* 一時利用は変更なし(自転車100円・原付200円)
* 学生は300円引きとする。

表2 自転車駐車場運営経費

		(千円)	
		平成18年度	平成19年度
収入	使用料収入	107,671	110,121
		107,671	110,121
支出	指定管理料(シルバー人材センター)	76,607	75,607
	敷地管理用	19,527	19,606
	補修工事等	963	2,342
		97,097	97,554
収 支		10,574	12,566

弁護士相談

☆日時 6月19(木) 午後3時~5時

☆場所 交野市役所 3階
(日本共産党議員団控室) 順番等がありますので
事前にお電話ください。

☎892-0121(内線301)

日本共産党 6月議会に意見書を提出

地球温暖化防止のための対策強化を求める意見書

地球温暖化やオゾン層の破壊、酸性雨などといった地球環境問題は、産業や交通の発達によって、工場や発電所、自動車から二酸化炭素を含んだ温室効果ガスが大量に放出され、ますます深刻化している。地球規模での砂漠化現象や局地的な大雨、世界各地を襲う猛暑等の異常気象の頻発は、その予想される影響の大きさや重大さからも重要な問題である。

温室効果ガスの排出削減を先進国に義務づけた京都議定書が、2005(平成17)年2月に発効し、わが国にとって、温室効果ガスの削減は国際的な責務であるが、目標期間である2008(平成20)年から2012(平成24)年までに1990(平成2)年比で6%削減の達成は、現在においても温室効果ガス排出量が増加傾向にあり、容易なことではない。

よって国会および政府は、総量規制や、産業部門、民生部門、運輸部門それぞれにおける排出量削減、省エネルギー対策促進のための支援強化を行うとともに、再生可能エネルギーなど新しいエネルギーの開発・転換を進め、地球温暖化防止のための対策強化をするよう強く要望する。

下水道使用料・保育料などの値上げの中止を 求め市長宛に、5096筆の要望署名を提出

「市民のくらしを守る交野市民会議」は、5月23日と6月4日に、下水道使用料・保育料などの値上げの中止を求め、市長に5096筆の要望署名を提出しました。要望署名は、金子枚方交野民主商工会会長、原口新日本婦人の会交野支部事務局長、馬場全日本年金者組合交野支部書記長が吉田副市長に手渡し、日本共産党の坂野・中上・さらがい議員が同席しました。

また、同じ趣旨の要望書を全市会議員に届けました。6月議会で値上げ案が審議され、6月20日の本会議で採決されます。署名活動の中で、「交野の下水道料金は高すぎる。引き下げてほしい」「自転車駐車場は黒字なのになぜあげるの?」「税金が上がり、物価もあがり、生活は大変」との声がたくさん寄せられています。

